

こんな  
体制です

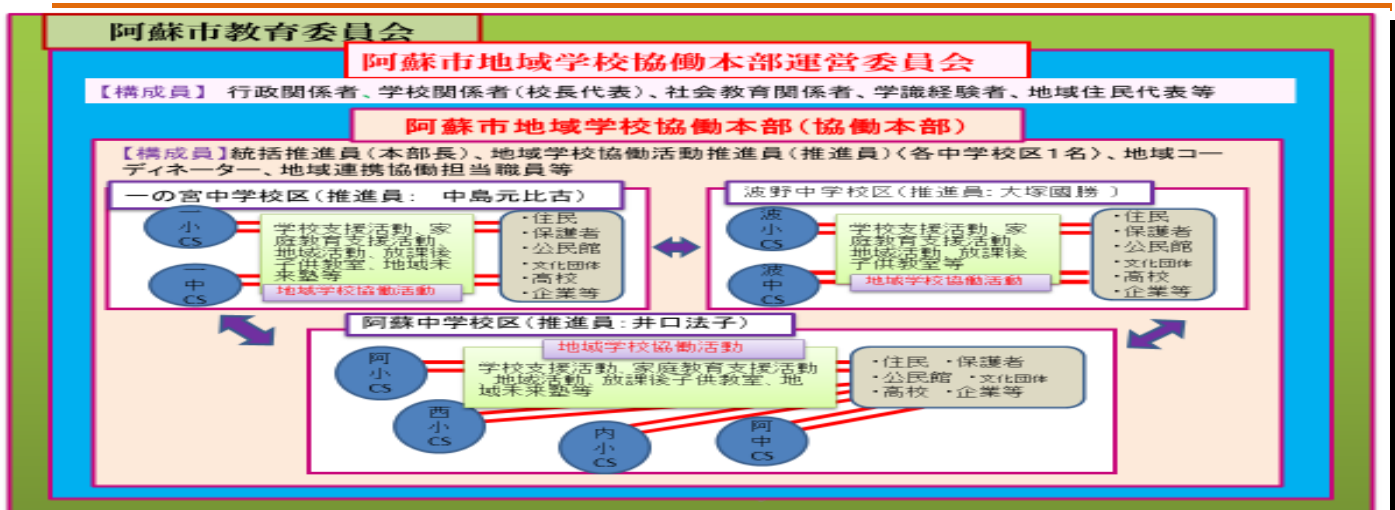
## 地域と学校の課題を解決する三つの機能を位置付け

阿蘇	●本部名等		●関係する学校名						
	阿蘇市地域学校協働本部		阿蘇市内全学校						
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 3人	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無

### ●体制の概要及び特徴

阿蘇市では、一つの地域学校協働本部を設けている。統括推進員1名、推進員を中学校区に1名ずつの3名配置している。また、各学校では校務分掌に1名の地域連携協働職員を位置付けている。本部の構成メンバーは、統括推進員、推進員、地域コーディネーター、地域連携協働職員で構成している。本部の中心的な要件であるコーディネートは中学校区ごとに実施する。さらに、本部の3つ要件のステップも設けられている。

### ●体制図等



## 新しい時代の学校と地域の在り方

阿蘇市教育目標  
ふるさとを誇りとし、認め合い、学び合い、  
励まし合い、未来を拓く活力ある阿蘇市  
民を育成する。

### 「支援から連携・協働へ」～地域と学校の課題を解決する3つの機能



### ●現状と課題・成果

- 県教育委員会のリーフレットを参考にして、地域と学校の課題を解決する三つの機能に関するステップも完成し、本部が各機能のステップの目標を踏まえながら計画的に運営する体制が構築されている。
- 各学校で実施している地域学校協働活動の把握及び支援者の人材バンク等の整備が進んできている。
- 阿蘇市内全学校が国版CSとなり、地域学校協働活動との一体的な推進が展開されつつある。特に、地域体験活動は平成25年度から始まり、現在、市内全ての小学校で行われており、学校運営協議会との一体的な推進が模索されている。